

NPO 法人市川にオオムラサキを生息させる会

ごあいさつ

今年は、コロナ禍の影響で、本会の活動も大幅な変更を余儀なくされてしまいましたが、小学校への学習支援の概要をお知らせいたします。

4月上旬 市内小学校2校に越冬幼虫約20頭、エノキ各3本ずつ配布。

5月下旬 追加のエノキ各4本と観察用の飼育かごキットの配布。

小学生向けの「オオムラサキだより」配布。

初の試みとして2つの小学校で「オオムラサキの授業」をさせていただく予定でしたが、コロナの影響で中止といたしました。

各校での活動の様子一部が、ホームページに掲載されていますので、その一部をご紹介します。

<中山小学校> 羽化ラッシュ 2020 6.22

(中略) オオムラサキのさなぎはどうでしょう? あれ、ぬげがらになっています。枝を見るとオオムラサキの成虫がいました。羽に青いもようがないのでメスでしょうか? これからも、昆虫たちの成長を見守っていきましょう。

<若宮小学校> オオムラサキ 2020 6.19

今年度の若宮小学校、羽化第1号です。今日のどのタイミングで羽化したのかは分からないのですが、午後1時に見ると蛹の殻の近くにとまっていた。まだ、羽を動かす気配はありません。羽が開かれないので、中の色を見ることができなくて残念ですが、待ちたいと思います。

来年こそは、是非子どもたちへの学習の場として実現させたいと願っております。

理事長 川添 茂

来年はもっとオオムラサキと関わられますように!

中山小学校は、多くの植物や生き物がいる学校です。子どもたちは草むらの虫を探したり、観察したりして興味関心を広げています。今年はコロナ禍で、オオムラサキの授業が実施できませんでした。そこで、HPに「オオムラサキ日記」を載せ、動画も配信しました。

また、校長室前ではタブレットで羽化の様子をいつでも見られるようにしました。さらに、オオムラサキの小屋を子どもたちが見やすい玄関脇に設置し、見守られました。今年は5頭が羽化しました。来年も美しいオオムラサキに出会えるのを楽しみにしています。



市川市立中山小学校 校長 望戸 千恵美

じっくりと生き物と付き合うともよい経験

毎年四月に「市川にオオムラサキを生息させる会」から、オオムラサキの幼虫をいただいている。今年は、年度当初が休校だったため、児童は少し大きくなった幼虫から観察することになった。幼虫が葉を食べる様子、美し成虫紫の羽など、「虫」が好きな子も嫌いな子もオオムラサキの成長を眺めに来ていた。



市川市立若宮小学校 校長 片岡 玲子

思い出

私は庭をバタフライガーデンにしようと昨年からアゲハ蝶が集まるブッドレア（フサフジウツギ）やルリタテハの食草のホトトギス（ユリ科）を植えて蝶道の寄り道づくりをしていました。まあ、2~3年先と思っていましたが、なんとビックリ、早くも1頭だけですが本年夏にルリタテハの幼虫を発見しました。8月6日に蛹化、15日に羽化して飛び立ちました。大変楽しい期間でした。



中山の会員 平林浩一

支援者からの苗木寄贈

若宮3丁目町会長石井孝幸氏から第六天の境内に成虫の餌となるコナラ2本が寄贈されました。有難うございます。

市川自然博物館3階

市川市内でもオオムラサキをいつでも観察できる場所

支援・協力をお願い

新会員・支援者募集

入会金 ￥1,000

年会費 ￥1,000/口

事務局

272-0822 市川市宮久保3-3-23

tel 090-7189-0188

URL <http://www.oomurasaki.com>

*本年3月に中止となりました「教育支援NPO・ボランティア等実践研究発表会」(主催 さわやか県民プラザ)ですが、来年2月27日に再度開催される事になり、本会の活動を報告することになりました。